

ハードウェアとソフトウェアの概要を説明し、実際の画像収集の際に対話形式でボタン操作のみで進行することを示した。本装置は、マイクロドットイメージャーの機能を持ち、同一フィルム上にアナログ像と画像処理した像がすばやくうつし込める。リストモード収集、ヒストグラムモード解折、心電図同期心プールイメージによる左室駆出率算出の方法を述べた。シンチビューは、日常診療に際して操作が簡便であり、使い易いデータ処理装置である。

7. 東芝 ECG gated blood pool 多分割撮像装置 TFM-0010 (特) の使用経験

中嶋 憲一 分校 久志
利波 紀久 久田 欣一
(金大・核)

本法には ECG, ECG 同期装置, γ imager が必要である。同期装置は東芝多分割撮像装置 TFM 0010 (特) フジテック製である。Tc-99m albumin 20 mCi を bolus で静注し、RI アンジオグラフィー施行後、そのプール像を LAO 30° で 650 心拍にわたって加算し、 γ -imager により 15 分割の連続イメージとして撮像した。

本法は、1) 10 数分間で心拍一周期にわたる経時的イメージを得ることができる。2) 心室壁 (特に左室) 異常運動の観察は虚血性心疾患、心不全などの機能評価および経過観察に有用であった。3) 収縮末期、拡張末期像から Ejection Fraction の算出ができる。4) RI アンジオグラフィー、Tl-201 心筋スキャンとの併用で診断上有用な情報を得ることができた。5) 同時にコンピュータ東芝 DAP 5000N にリストモードで情報を採取し、motion image としての観察も行なった。ゲート法を用いた症例 4 例を供覧した。

8. フロッピーディスクによるシンチビューの使用経験

——第 1 報 Ops/con Schintiview の紹介

平木辰之助 折戸 武郎
小島 一彦 真田 茂
(金大医短・放)
宮崎 吉春 宮永 盛郎
(能登総合)

米国 Searle 社製 Ops/con, Schintiview を使用する機会があったので、その特徴について報告した。

テレビモニターは 12 インチ白黒像、256 濃淡レベルで、シンチカメラ LFOV 型を接続し、押ボタンによる対話形式で操作する。特に通常必要な表示プログラム、処理プログラムが組み込まれており、フロッピーディスクを使用することにより 8k×8 ビットのメモリーを 1 枚のディスク内に収納し、随時交換して分類し管理することが可能である。

今回は、カーディアック I のプログラムによる VTR 記録像で 64×64 画像のシネモードと 100% に正規化された容積曲線描画手技を提示した。

9. ガンマカメラとオフラインミニコンによる RCT の基礎的検討

小島 一彦 平木辰之助
(金大医短・放)
前田 敏男 久田 欣一
(同・核)
山田 正人
(同・中放)

RCT 専用機器の開発も進められているが、RCT 画像再合成の研究に既設のガンマカメラを検出器として、コンピュータで断層イメージを再合成する一連の過程を検討した。

ガンマカメラは、東芝 GCA-401 (高分解能コリメータ付き) を用い、横方向から 10° ごと 36 枚の側面イメージを収集し、そのイメージから断層を得たい任意のラインのプロファイルデータを角度デ